

自然気胸のおはなし

みなさんは、「自然気胸」という病気を聞いたことがありますか？テレビに出ている有名人の方がこの病気で入院したりするとニュースになることが時々あります。

自然気胸とは、肺の一部に穴があいて空気がもれ、パンクしたタイヤのように肺がしぼんでしまう病気です。

●自然気胸の種類

自然気胸には2つのタイプがあります。

ひとつは、10～30代のやせ形の男性に多い、ブラとよばれる浮き袋のようなものが破れてしまうタイプ。もう一つは、中高年以降の喫煙者に多い、肺気腫に伴って肺に穴が開いてしまうタイプ。

●原因

気圧やストレス、喫煙など様々な原因が考えられていますが、はっきりとした原因は分かっていません。

●症状

多くは安静時におこり、突然の胸痛、咳、呼吸困難などの症状がでます。特に背が高く痩せていて、タバコを吸う男性の方は、自然気胸を疑ったほうがいいでしょう。

●自然気胸の治療法

「肺に穴が開く」なんてと聞くと、とても恐ろしい病気を想像してしまいがちですが、おおむね予後は良好です。

軽度の気胸は経過観察が可能です。破れた穴が自然に塞がり、漏れた空気が吸収され、肺が元通りに広がるのを待ちます。

中程度以上の気胸の場合は、「胸腔ドレナージ」という鉛筆くらいの管を胸の中に入れます。胸の中に溜まった空気を体外に排出し、肺に開いた穴が自然に塞がるのを待ちます。この治療は、入院が必要です。

この胸腔ドレナージを行っても空気漏れが治らなかつたり再発した場合は、手術が行われます。

手術は全身麻酔で行い、肺の表面にある、穴の開いたブラを切除します。

以前は胸を大きく開けて手術行っていました。最近では「胸腔鏡」というカメラを用いて手術を行います。傷は小さくて済み、痛みも少ないため、手術後早期の退院が可能です。

当院では自然気胸に対する胸腔鏡手術を積極的に行っています。

